



No.34

平成30年3月30日発行

編集・発行

北斗会 (旧富山商船同窓会)

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 00720-1-2631 (ホクトカイ)

同窓会HP <http://www.toyama-shosen.com/>



CONTENTS

2 同窓会長挨拶

富山高専 どう変わる？

「富山高専の教育体制整備」平成33年までの青写真

4 定期総会

5 平成28年度 決算報告／平成29年度 予算案

6 学内人事／入試・就職情報／新入会員名簿

7 新臨海実習場

若潮丸船長あいさつ N66 中松 英也

8 支部会だより 東北支部／富山支部

9 支部総会のお知らせ

10 商船グリーン会コンペ

かたふりコーナー

11 同窓会HP情報

12 お知らせ

不審な名簿業者からの連絡にご注意ください

平成30年度 総会・懇親会のお知らせ

編集後記

写真上 新湊市海老江練合1-2に移転当初の校舎、
昭和44年3月に移転完了

下 最近の校舎

夢みる力をつくる力へ

北斗会会長 池田 茂 (E24)



立山の空にそびゆる雄々しさに・・・
冬来たりなば春遠からじ、まさしく35年ぶりの大雪に見舞われた母校も暖かい春の光に輝いております。そして卒業、入学の一大イベントの季節がやってまいりました。

我々北斗会も会計年度を3月31日に変更し、初めての3月決算となります。毎度問題になります、財政不足に付きましては、卒業生の終身会費だけに頼っていたのでは資金不足になるのは自明の理です。しかしただ活動を縮小していったのでは組織は弱体化します。私は収入源を開発すると共に、予算執行の選択と集中を大胆にやるべきだと提案します。また北斗会の活動は地方でこそ本当の同窓の力を発揮することができると思っております。是非支部活動が活発になるよう環境を整えようではありませんか。そこで誤解して頂きたくないのは本部の役割です。本部は扇子の要です。学校との連携、各支部との調整、ほんごう会への対応、事務全般、広報活動は本部の仕事だと思えます。

これから出てくる問題としては「富山高専同窓会」が、今はお飾りですが近い将来実態を持ってくると言う事で

す。卒業生は「北斗会」「ほんごう会」に入会するのではなく「富山高専同窓会」へ入会していくと言う事です。それは北斗会の会員が今後増えないと言う事です。これも私達は腹を据えて考えておく必要があります。

校長(賞雅 寛而)(たかまさ ともし)先生から今後の学校の目指していることを伺う機会がありました。その中で出てきたのが学科の増設、1年間の全学科合同就学の実施でした。学生は射水キャンパスで学ぶ時期もあり、本郷キャンパスで学ぶ時期もあると言う事です。従って北斗会に所属すべきか、ほんごう会に所属すべきか分からなくなると言う事です。

今の校長先生は東京商船機関科卒で商船三井での乗船経験もあるお方です。なかなか意欲的で論理整然と学園改革を実行されておられるように見受けられます。我が母校の益々の発展を期待して会報の挨拶といたします。

富山高専 どう変わる?

「富山高専の教育体制整備」平成33年までの青写真

平成21年に富山県内の二高専(商船と工業)が再編統合したメリットを活かし、時代の変化に対応して富山高専がさらなる発展を目指すために、「富山高専の教育体制整備」を策定しています。その主な内容を紹介します。

1. 入学定員の増加(1学年240名→280名体制へ)

再編統合により平成22年度入学生から両キャンパスで入学定員を合計80名削減しました。この減員により県内産業界への人材供給に十分対応されていないことや、学生の課外活動・学校運営の活力の低下が顕在化しています。減員した1学年の定員を40名回復することにより、社会からの人材供給の要請に応えながら校内活力の活性化を目指します。

2. 両キャンパス(射水・本郷)の交流促進

教職員および学生の両キャンパス間の交流(移動)を促進し、組織間の連携強化を図ります。特にクラブ活動においては、対外試合の1チーム化により活動強化を目指します。

3. 県外入試広報の強化

北陸新幹線の開業に伴い、全国規模で入試広報を強化します。特に関東・東北地方を中心に、他県の高専にない学科(商船学科、国際ビジネス学科)への志願者の拡大を目指します(ポスター参照)。また、帰国子女・留学生の受け入れを積極的に行います。

4. 本科1年次同一キャンパス授業の検討

総合高専の特性を活かし、多様な分野の学生間の交流と、全学科を一体化した教育により学際的感覚の涵養を図ることを検討します。

水谷淳之介 (E35)



15歳からはじまるカレッジライフ!

商船学科

世界は海でつながっている
この世界は私たちがつなげられる



国際ビジネス学科

富山から環日本海へ、そして世界へ
外国語とビジネスの知識を駆使する
グローバルな人間を育てる



機械システム工学科

「機械の発知」で未来を動かせ!

電気制御システム工学科

電気工学と機械工学の融合

物質化学工学科

実験を通して確かな技術と知識を

電子情報工学科

電気・電子回路から
ソフトウェア開発まで



独立行政法人 国立高等専門学校機構

 国立富山高等専門学校

とやまこうせん

検索

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>



定期

総会

平成28年11月12日(日)、北斗会理事会が富山電気ビルレストランで開催されました。

会務報告、決算報告、監査報告がなされ承認をいただきました。決議事項、報告事項は以下の通りです。

日時 平成28年11月12日(日) 16:00～

場所 富山電気ビルレストラン

議案

1、役員人事

会長：池田会長から、任期満了につき交代したいとの申し出があったが、会計年度の変わり目でもあるので、平成30年3月31日まで続行することになった。

支部長：関東支部

N59土屋 正徳 → E33長谷川 徹

関西支部

N59高橋 健治 → N68川原 勝行

東北支部

E25朝倉 光洋 → N63高橋 茂

事務局：関東支部

N79北見 知行 → E34平山 俊夫

理事：新任

富山支部

E32野村 誠、E34米田 広志、

NE14牧田 祥子

退任

富山支部

E16黒津 良朗、N72金田 泰三

2、本部、支部からの報告事項、提出議題

①「富山商船創立110周年記念祝賀会」に関し、土屋関東支部長より経過報告。

②「富山高専同窓会」事業報告に関し、池田会長より報告。

- ・「富山高専同窓会」の年間事業に関わる支出金(約50万円)分が毎年赤字となっているので、事業規模の縮小及び収入増の対策を講ずる必要がある。

③同窓会名簿のメンテナンスに関し水谷理事から経過報告。

- ・平成30年3月末までには完成予定。

- ・卒業生の支部配分も名簿メンテナンスに生かすようにする。

④ホームページのメンテナンスに関し高崎理事より経過説明。

⑤会計報告には「一般会計」と「特別会計」を設ける。

⑥学内事務局人事と業務支援対策に関しては会長、副会長に一任する。

⑦29年度に東北支部に秋田県人会を立ち上げる予定。(高橋東北支部長)

3、協議事項

①「北斗会」の会計年度の変更について。

- ・会計年度は平成30年4月1日より、4月-3月会計とする。決定29年度会計報告は、29年11月に28年11月-29年10月分の仮決算を会長に提出する。

- ・次回「総会」は平成30年5月12日(土)とする。

- ・「会報」は平成29年には発行しないで、平成30年3月末に総会案内を同封したものを発送する。

②その他

- ・一般会計における、収入増の案を積極的に提案して行く必要がある。

北斗会会員の皆様へ

平成28年11月12日(日)に開催された定期総会において、会計年度の変更が承認されました。その変更に伴い定期総会が5月に開催されることになり、会報の発行時期も変わります。これまで8月頃に発行されていた会報ですが、今後も3月末を目処に会報が発行されます。掲載されたい記事などありましたら北斗会事務局(富山県射水市海老江練合1-2、<http://www.toyama-shosen.com/>)までご連絡ください。

4代目
若潮丸

新臨海実習場

平成27年3月に移転
射水市堀江千石6番4



平成27年3月に移転・新築いたしました「新臨海実習場」は、敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮桟橋などを備えています。

主は商船学科の実習に利用し、四代目となりました「若潮丸」も現役で頑張っております。

その他、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。



■ 若潮丸船長あいさつ

中松 英也 (N66)



昨年4月に練習船若潮丸の船長を拝命した中松です。

昭和51年卒業です。この時は、オイルショックの影響による海運不況のあおりを受け、航海科2クラスの卒業生に対し、船会社から求人が0という厳しい時代でした。

商船学校に入学したからには、何が何でも船に乗りたいとの思いが通じたのか、ようやく外航船社への就職が叶い、世界の海を駆け巡ることができました。

しかし、ほどなく学生時代には考えもしなかった航海士と機関士の両用という「近代化」の波にもまれ、更に「緊急雇用対策」という大波にもまれる試練の時代に翻弄されました。

その後私は、諸事由から外航船社をやめ、これまでの資格や経験を活かせる仕事につきたいという思いから、海上保安庁に入庁し定年まで勤務しました。そして、これで船乗り人生の終わりかと思っていたところに、母校の練習船勤務というご縁

をいただき、今日に至っております。

勤務して驚いたことは、学校名が変わったこと、学科が増えたこと、多くの女子学生がいること等で、「学校らしくなったなあ」ということです。

私は主に乗船実習や実験実習を担当していますが、商船乗りとしての長いブランクを埋めるため、乗組員や教職員の皆様の応援を受けて何とか頑張っております。

私の目標は、安全運航に徹することはもちろん、若潮丸を教材として学生全員に存分に触れたい、また、古い話ではありますが「商船の話」を聞かせたいということです。そして巣立っていった学生たちがいずれ学校を訪れ、私に船の話をしてくれることをとても楽しみにしています。

まだまだ勉強不足を痛感し、日々右往左往している私ですが、学生たちに負けぬよう研鑽を積んでいく所存ですので、若潮丸ともども今後とも宜しくお願いいたします。

支部会だより

東北支部

第4回山形県人会+第1回秋田県人会開催報告 『両羽会が正式に発会しました』

去る平成29年7月8日(土)に、山形県庄内地区の鶴岡市由良町にある、温泉民宿本間義一にて第4回山形+第1回秋田県人会を開催いたしました。

昨年より秋田県人会立ち上げを目指して来ましたが、卒業生の絶対数が少ないことから単独での運営が厳しいと判断、秋田・山形を一つの会にする案を、宴席の前に参加者全員にて、提案した事務局案を審議致しました。

審議の結果、満場一致で『両羽会』を承認し、正式に秋田県人会+山形県人会が一つになりました。

『両羽会』命名の由来は、江戸時代概ね羽前が山形県・羽後が秋田県で、境界が最上川でした。羽前と羽後が合体し二つの羽と言うことで『両羽』とした次第です。また、日本海繋がりの意味合いもあります。

このお目出度い宴席には、北斗会

本家事務局長の佐々木氏、前関東支部長の土屋氏そして関東支部事務局長の平山氏が、遠路遙々参加して下さいました。

まずは集合写真撮影となり、東北支部長高橋氏直筆の横断幕(祝両羽会)と佐々木氏が富山から持参して下さいした校旗を掲げ、はいチーズとなりました。

両羽会の役員は、会長會田氏(N58山形)、副会長仲川氏(N63山形)・中田氏(N63秋田)、事務局富山(E32山形)・加藤氏(N65秋田)に決まりました。

前関東支部長土屋氏の乾杯の音頭と挨拶の後、和気相合とお酒と歓談のメーターを上げる、大昔の紅顔可憐な商船生たちでした。

今回の参加者は宿泊組15名・宴会参加組4名の計19名で、毎年参加人数増えており、それにつられて飲み代が2.5倍増え、参加者の笑顔が5倍になった楽しい一時を過ごしました。

今回も料理は最高で、東京では2千円以上はする大振りな岩牡蠣が3個、大型サザエの刺身が2個、サザエの壺焼きが2個、近海で捕れた本マグロの生

富山支部

平成29年度 北斗会富山支部理事会の開催

平成29年11月29日(土)13:00より 富山高専射水キャンパス あいの風会館にて富山支部理事会を開催しました。主な議題は以下の通りで、審議結果は平成30年5月12日(土)開催予定の、北斗会定期総会・理事会に提案することになりました。

水谷 淳之介 (E35)



出席者

島木隆昭 (N55) 永守 徹 (N63) 田近茂樹 (N63)
池田 茂 (E24) 山口光三 (E25) 斉藤 正 (E26)
河上秀雄 (E28) 佐々木正 (E30) 野村 誠 (E32)
篠島司郎 (E33) 水谷淳之介 (E35)

議 事

- (1) 平成29年度総会への提案議題について
役員改選
支部理事の退任者及び新任者
- (2) 報告事項
平成29年度仮決算報告
関東支部役員の校長訪問について
卒業生銘板の作成について
- (3) その他
山元賢治 元会長死去について

刺身は絶品で、マグロの頭を焼いた兜焼きもあり、グルメな会員の舌を唸らせていました。(美味しい料理の写真添付・本マグロは和田氏(N70)の差し入れ)

最後に、秋田県男鹿出身で水産加工会社を営んでいる、夏井氏(N67 旧姓高桑)の来年も此処で集うことを約束し、両羽会が益々発展する事を祈願し、万歳三唱で閉じました。

両羽会事務局 富山 仁 (E32)



上段 富山 (E32) 斎藤 (E43) 菅原 (N74) 白幡 (N83) 本間 (E36)
 中段 館 (N63) 佐藤充 (N63) 仲川 (N63) 加藤 (N65) 小坂 (N63) 高橋 (N63) 中田 (N63)
 下段 伊藤 (N55) 曾田 (N58) 佐々木 (E30) 土屋 (N59) 田邊 (N61) 平山 (E34)
 両羽会横断幕 夏井(高桑)(N67) 和田 (N70)



支部総会のお知らせ

各支部の総会は下記にて開催されます。ご確認の上、多数のご参加をお待ちしております。

北海道支部

- 日時：4月10日(火)
17:30～ 総会 18:30～ 懇親会
- 場所：「アイビー」
札幌市中央区南4条西5-1
札幌東急イン2F

関西支部

- 日時：5月9日(水) 18:00～
- 場所：神戸三宮「東天紅センタープラザ」
神戸市中央区三宮町1-9-1-1900
TEL：078-332-5467

関東支部

- 日時：7月12日(木) 19:00～
- 場所：「トラットリア・イタリア」日本橋店
東京都中央区日本橋室町1-7-1
スルガビルB1
TEL：03-6202-0095

第82回 商船グリーン会 コンペ

平成29年4月20日
高岡カントリークラブ

今日は昨日、一昨日の時より強風が吹く天気とは違って好天気になり、暑くもなく寒くもない汗も気にする事がないラウンド日和となった。ハーフで30分休憩を入れ、所要時間は約5時間20分位で割合、スムーズに回れた一日であった。



かたふり コーナー

富山県氷見市議会議員
稲積 佐門 (I18)



みなさん、こんにちは。私は2006年に情報工学科を卒業した稲積佐門です。在学中はテニス部に所属していました。今でも子どもたちの指導にあたらせていただいています。

卒業後は福井大学へ編入しましたが、進級にたらず、途中で辞め地元へ帰りました。

そのあとは、北陸新幹線のガラスにも採用された会社でサラリーマンを3年ほどして家業である酒屋の仕事を手伝っていました。

その頃から仲間と共に面白いことやりたいと思い、地元氷見で行われていた街コンの手伝いや色々なイベント事のスタッフとして参加するようになりました。その中で、自分が大事で大好きなこの地元をもっともっと盛り上げていきたいとい

う気持ちが強くなっていき、地域を変えるには政治家にならなければ行けないと考え、29歳のときに立候補し、家族や仲間、地域の方々の支援のおかげで当選することができました。当時は県内で最年少議員として新聞の正月の特集にも掲載していただきました。

市議会議員というのは、市民代表としての行政のチェック機関であるとも言われますが実際は市民の声を行政に届けるパイプ役のような役割があったり、市内外の人を繋げて自分の地域をよりよいものにする一助を担ったりとその役目は様々です。早いもので、議員となってから3年がたちました。任期は1期4年となっているので、この4年間の自分のやってきたことが評価される、2期目への挑戦に向けた大事な選挙であります。

学生の頃にはこんな人間になるとは思いませんでした。でも、人生の中でどんなタイミングでどんな選択を迫られるか選ぶのは全部自分です。他の誰でもない。卒業生にしろ在校生にしろ、それは変わらないと思います。これからの自分の人生、悔いの残らない選択を自らの判断で生きていきたいと思います。良くも悪くも、自分の人生は全部自分です。



北斗会 (旧富山商船同窓会) ホームページに御アクセスください

<http://www.toyama-shosen.com/>



ホームページへのアクセス方法

URLを打ち込むか、検索エンジン(yahooやGoogle)で「富山商船同窓会」と検索してトップに出てくる検索結果をクリックしてください。左のようなトップ画面が表示されます。



総会の情報や同窓会から発信している情報を見ることができます。



HPへの同窓生の企業バナー表示を検討しています!!!

企業のバナーを同窓会HPに表示してみませんか？

バナーの表示契約は有料を検討しています。
企業経営をされている同窓生の皆様ご検討下さい。
詳細については下記メールアドレスにお問い合わせください。
hp@toyama-shosen.com



母校の町、散策

堀口 兵策 (E14)

卒業以来、60有余年になるが、今でも時折母校富山商船学校があった付近の散策を楽しんでいる。

二の丸橋から続く内川沿いの細い道、訪い練なる漁り船、昔と変わらぬ家並み、水面に浮かぶ鷗等、眺めながら散歩。途中、川の駅にてコーヒーを吸りながらカッター訓練で内川を往来したことが懐かしく、思い出が甦る。

次いで、海王丸パークに移動、今は繁留されているながらも、優美な姿の帆船海王丸、美しい曲線を描く日本海側最大の架橋、東方に映える立山連峰が重なるコントラストが、実に素晴らしい。幾度見ても飽きない景色である。

散策の終わりには近くの“きときと市場”に立寄り、地場の海産物を買って、帰路に着く。

若き日に過ごした母校の町が、我が心の故郷であり、わけもなく愛しく思われる。

同窓生の皆さんには是非、おすすめしたい散策のコースである。



北斗会会員より、
北斗会への寄付がありました
たのでお知らせ致します。

西城 実氏 (E42)

- 現金 30,000円
- ギフト券 50,000円

ありがとうございました。

平成30年度

総会・懇親会のお知らせ

日時 平成30年5月12日(土)

14:00~16:00 理事会

16:00~17:00 総会

17:00~19:00 懇親会

場所 富山電気ビルレストラン

〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号
TEL:076-432-4111

懇親会費 5,000円(女性3,000円)
新会員(新卒者)無料

※準備の都合上、出席の有無は4月20日までに同封のがきでお知らせください。

同窓会事務局へご連絡ください。

同期会の開催などの同窓生近況を事務局へご連絡ください。また、お住まいの地域にて、どの同窓会支部へ連絡したら良いか、支部総会に参加したいが連絡をどこへしたら良いか、など支部や支部活動に関するご相談もお気軽にお問い合わせください。

【連絡先】

〒933-0293

富山県射水市海老江練合1の2 富山高等専門学校内
北斗会(富山商船同窓会)事務局

! 不審な名簿業者からの連絡にご注意ください

“富山商船高等専門学校”と記した同窓会名簿の発行案内のハガキが届いた、という連絡がありました。同窓会では個人情報等を配布することはありません。このような悪質な業者からの問い合わせには応じないよう、ご注意ください。



編集後記

同窓会の年度の移行に伴い、会報の発行も3月となりました。同窓会の仕事をしていると、本校の歴史を感じることも多いです。私が学生の頃に情報処理センターと呼ばれていた建物が「あいの風会館」という名前に変わり、本校の歴史に関わる写真や記念品が保管されています。その中に保管されていた写真を会報の表紙に選びました。セピア色の写真は海老江練合移転当初の写真です。昭和44年に校舎が完成したそうです。今の校舎の写真と見比べても寮や実習工場はあまり変わっていないようです。もしかしら親子二代で同じ寮で生活したという同窓生もいるかもしれま

せん。第二専門棟や第三専門棟は情報工学科、電子制御工学科、国際流通学科の設置に合わせて増築や改築がなされたようで、移設当初には見当たりません。そういった違いに注目すると第一印象とは違って変わって移設当初と今の校舎で違うところが目につくようになってきます。他にも大きなところ、細かいところで違いが見えてくると思います。今年は5月に北斗祭も開催されます。ぜひ本校に遊びに来てください。皆様が学生時代に開催されたような、今も変わらずに楽しい学園祭になっていると思います。

経田 俊昭 (NE13)